

■大航海時代2(教科書p. 132、148・149)

メインエッセッション

**MQ:** 大航海時代によって、ヨーロッパや国際関係はどのように変わったのだろうか。

**I アメリカとアフリカの悲劇**

ヨーロッパ人の植民活動 → アメリカ大陸の各地の社会は一変

◇スペインによる征服

- ・[1 ]がメキシコ高原のアステカ王国を滅ぼす
- ・[2 ]がアンデス山脈のインカ帝国を滅ぼす

◇人種の混血

- ・先住民((3 ))…鉱山での酷使や感染症で激減 → アフリカからの(4 )で労働力を補う

◇商品作物の栽培

- ・(5 )や(6 )が持ち込まれ、タバコとともに(7 )でつくられる
- …先住民や黒人奴隷を使用して栽培 → 伝統的な農業や農村の生活は破壊

◇アフリカでの変化

- ・サハラ交易ルートから大西洋航路へ → ソンガイ王国の滅亡
- ・金にかわり(8 )が貿易の中心に → ベニン、ダホメなどが仲介で繁栄
- ・アフリカ大陸南端に住むオランダ系のブール人 → (9 )建設

**II 大西洋の三角貿易**

◇三角貿易…17世紀後半以降に確立

- ・ヨーロッパ → アフリカ…(10 )、ガラス、綿布などの工業製品
- ・アフリカ → 南北アメリカ…(11 )、象牙など
- ・南北アメリカ → ヨーロッパ…(12 )、タバコ、綿花、コーヒーなど

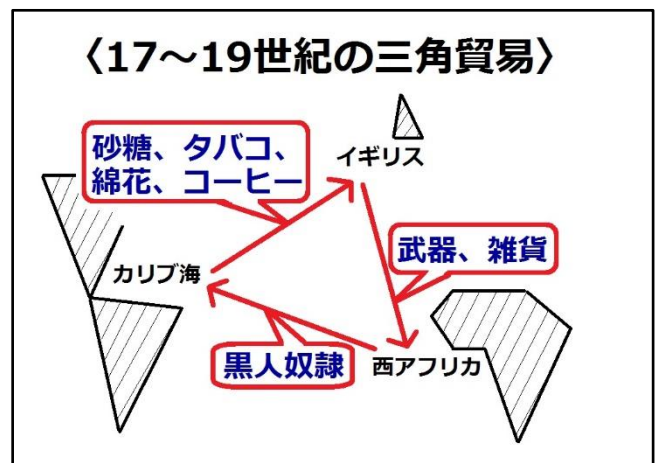
⇒ ヨーロッパ諸国、とくに(13 )が三角貿易で大きな利益を得る

アフリカに流入したもの

- 銃→奴隷狩りに使用
- トウモロコシ→不可欠な食糧
- カカオ豆→重要な産物に

◇アフリカ東岸～東アジアの交易ルート…16世紀以降、ヨーロッパ人が支配

→ 19世紀に大西洋側の商業活動と結びつく  
⇒ **世界経済の一体化**



### Ⅲ 18世紀の国際関係

#### ◇世界経済の中心

- ・17世紀、(14 )が世界経済を支配・・・人口が少なく中継貿易のみ → 長期的支配は出来ず
- ・イギリスとフランス・・・北アメリカとインドで衝突
  - 七年戦争の際、イギリスはインドでフランスを破る(プラッシーの戦い)
  - 北米でもカナダなどを手に入れる
  - ⇒ (15 )が世界貿易における主導権を確立

#### 世界経済の中心

- 16世紀 スペイン
- 17世紀 オランダ
- 18世紀 フランスとイギリス

### Ⅳ 大航海がもたらしたもの

#### ◇ヨーロッパの物価上昇

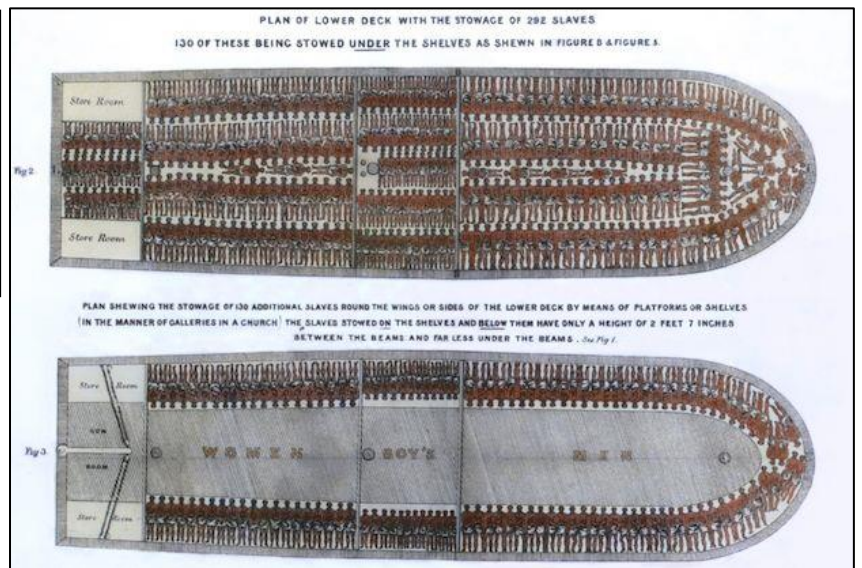
- ・スペイン領のペルーや(16 )の鉱山から大量の銀が流入
  - (17 )の上昇を招く((18 )革命)
- ・それまで銀を供給していた(19 )の銀山と金融業者 → 没落
- ・一定金額の貨幣収入で生活していた領主層 → 社会的な地位が低下
- ・毛織物などの商品の生産や流通にかかわる商工業者 → 豊かに

#### ◇商品の流通や種類の変化((20 )革命)

- ・商業ルートが地中海経由から(21 )経由へ
- ・(22 )やピサなどイタリア半島の海港都市は衰退
- ・大西洋に面したリスボンや(23 )は繁栄
- ・アフリカの象牙や金、アジアの(24 )が大西洋の港に着くようになる

⇒ 17世紀以降のヨーロッパ国際関係の変化を引き起こす

Q1 右は、18世紀に建造された運搬船である。三角貿易において、この船で何が運ばれたのだろうか。



1年	組	氏名	検		
----	---	----	---	--	--